VISION

取扱説明書

盗難発生警報装置

1480S
1480B

CAN BUS SECURITY

CAN BUSシステム搭載車専用

新保安基準適合

Ver.29713

目　次

はじめに

　この度はVISION1480S/1480Bをお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前に必ず本書をお読みいただき、正しい取扱方法によりご使用いただきますようお願いします。また、本書は読んだ後も大切に保管してください。

　なお、本書は、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守って頂きたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。本装置をお使いいただく前に必ずよくお読みください。

安全に正しくお使いいただくための表示について

⚠ 危 険　　人が死亡するまたは重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

⚠ 警 告　　人が重傷を負う危険が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

⚠ 注 意　　本装置の本来の性能を発揮できなかったり、本装置の故障をまねく内容を示しています。

危　険

● 本装置取付時のバッテリー電源

本装置の取付を行う場合には必ずバッテリー電源をはずした状態で作業を行ってください。電源がはずされていない状態で作業を行うと、車両または車両の機器の突発的な動作により重大な事故の原因となります。

● 本装置の設置位置

コントロールユニットを水、湿気、熱、湯気、ほこり、油等の多い場所に保管、設置しないでください。火災、感電、故障の原因になります。

警　告

● 本装置の取付

本装置の取付には車両電装および車両整備に関する詳しい知識と技術が必要です。取付は必ず車両電装に関する専門の知識と技術をお持ちの取付店にて行ってください。専門の知識や技術のない方が取付を行うと車両または本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

● 本装置の設置位置

本装置は車両の機器や他の機器と干渉する場所やそれら機器に影響を及ぼすような場所には設置しないでください。特に車両の機器の性能を損なうような取付を行うと本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

● 12V車専用

本装置は12V電源専用機器です。24V車への取付を行うと車両または本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

● CAN-BUSシステム搭載車専用

本装置は車両CAN通信システムと通信を行う事で正常に機能します。装着対象車両に適合したデータを事前にダウンロードする必要があります。

注　意

● 本装置の固定

　本製品は確実に固定してください。固定が不十分であると、故障の原因になったり、性能が十分に発揮されない可能性があります。

● 車両のバッテリー交換

　車両のバッテリーターミナルをはずす際には必ず本製品の主電源（メインカプラ）をはずした状態で行ってください。主電源を接続したままバッテリーを交換すると、登録されているCAN-BUS同期信号が消える等の故障の原因になる可能性があります。
　また、ドアロックが作動するなどキーの閉じ込みの原因になる可能性があります。

● エアバックや盗難防止機能付ステレオを装備した車両

　エアバックや盗難防止機能付ステレオを装備した車両は、バッテリーがはずされたことを記憶する機能を有していることがあります。この記憶状態をリセットするには専用のID番号が必要となり、その車両を購入したディーラーでなければ解除できないことがあります。

● 取付作業

　本製品の取付時は換気と鍵の閉じこめ防止のため窓を開けて作業を行ってください。

● バッテリーあがりについて

　バッテリーの寿命は正常な状態で2〜3年ぐらいであり、使わなくても性能は劣化します。また、最近のバッテリーは、車内電装品の充実等により突然性能が落ちます。前回のバッテリ交換から2年以上経過している場合はもちろん、カーセキュリティ装着時にはバッテリーの点検や早めの交換をお勧めします。特に、一回の走行距離が短い、オーディオやカーナビなど電力消費の多い機器を使用している、車の利用回数が少ない(車は乗らなくても多くの電気機器により待機電流として消費します)などの場合は,バッテリ充電能力よりも消費の方が上回るため、十分な充電ができません。
【バッテリー寿命を短くする要因】
★ 渋滞・夜間・雨天の利用が多い。
★ エアコンを常に利用している。
★ オーディオやカーナビなど電力消費の多い機器を利用している。
★ 一回の走行距離が短い。
★ 車の利用回数が少ない。(車は利用しなくても多くの電子機器により電力が消費されます。)
★ 2週間以上乗らない。

その他の注意

● 万一誤った設置や配線、車両電装の知識不足による誤った配線方法により車両の破損、故障が発生しても当社では一切責任は負いかねます。

● 本製品は盗難防止を目的としたシステムですが、本製品の作動の有無に関わらず盗難等の被害が発生しても当社では一切の責任を負いかねます。

● バッテリーあがり等でCAN-BUS同期信号が消えると緊急解除もできなくなる事がありますのでご注意ください。

梱包物をご確認ください

メインユニット ×1

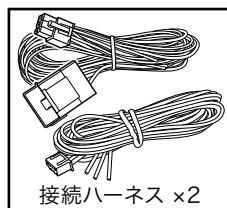
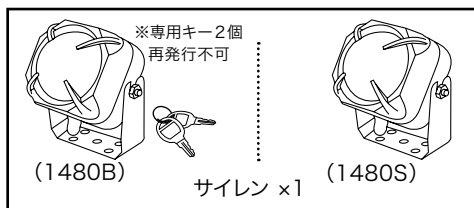
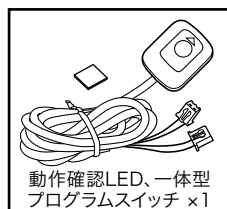
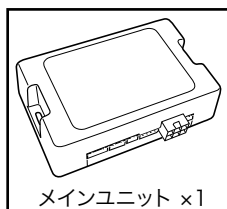
衝撃センサー ×1

動作確認LED、一体型プログラムスイッチ ×1

(1480B)

(1480S)

サイレン ×1

接続ハーネス ×2

その他の梱包物

本説明書	X	1
ステッカー	X	1シート(4枚)
適合証明書	X	1

取扱に関する説明

システムセット(警戒)

通常のセット

車両のすべてのドアを閉め、車両純正のリモコンまたはキーフリーシステム(以下純正キーレス)を使ってドアをロックします。ロックに連動したハザードの点滅終了後チャープ音が1回発せられ動作確認LED(以降LED)が点灯します。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わり、システムが警戒を始めたことを知らせます。LED点灯中にドアを開けたり、イグニッションをオンにしても発報しません。(センサーはドアロック操作から10秒後に検知を開始します。)

動作確認音(チャープ音)の有無の設定方法

下記手順によりシステムセット/解除時の動作確認音のオン/オフを選択できます。

手順	作業内容
1	IGがオフの状態でプログラムスイッチを1回押します。
2	20秒以内に純正キーレスによりドアをロックします。
動作確認音の設定が変更され、システムがセットされます。	

ヒント

設定は上記手順が再度行われるまで変更されません。例えば動作確認音をオフした場合には上記手順を行わない限りオフされたままとなります。

センサーバイパスモードでのセット

下記手順により状況に合わせてシステムセット時に外部センサー(衝撃センサー等)を一時的にスリープさせ、センサーが反応しないようにすることができます。

手順	作業内容
1	IGがオフの状態でプログラムスイッチを2回押します。
2	20秒以内に純正キーレスによりドアをロックします。
動作確認音が発せられる設定になっている場合には、通常セット時1回の確認音が2回発せられバイパスモードでセットされた事を知らせます。	

ヒント

バイパスモードは上記手順を行った1回のセット中のみ有効です。

システム解除

　純正キーレスを使ってドアをアンロックします。チャープ音が３回発せられ（動作確認音がオフになっている場合には無音）LEDが消灯します。

解除時にチャープ音が４回鳴る場合

　システム解除時にチャープ音が通常の３回ではなく４回発せられる場合には、何らかの原因で警戒中に異常発報した事を知らせています。このような場合にはシステム解除後LEDの点滅回数を確認する事で反応したセクター（センサー）を知る事ができます（9頁トリガーメモリー機能参照）。

　エンジンスターター装着車の場合、エンジン始動中に純正キーレスにてドアアンロックができない場合があります。これは車両の純正の機能ですので、エンジンを停止させてから純正キーレスにて操作してください。

緊急リセット（解除）の方法

　純正キーレス電池切れで使用不可能な場合には、下記手順にしたがってシステムを解除してください。

※ セキュリティ性向上のため本製品をご使用される前に必ず本説明書12頁を参照して緊急リセットコードの変更を行ってください。

手順	作業内容
1	ドアを開け車両に乗り込みます。（この際サイレンが鳴り始めます。）
2	IGをオンにします。
3	プログラムスイッチを任意に登録した緊急リセットコードの回数押します。
4	IGをオフします。
手順4終了後システムは解除します。	

※工場出荷時の緊急リセットコードは6です。

※ 入力した緊急リセットコードの回数が正しくない場合、システムは再度サイレンを鳴らしますので、緊急解除の手順を最初からやり直してください。
※ 純正キーレスを破損したり、紛失した場合には緊急解除できません。
※ バッテリーあがり等でCAN-BUS同期信号が消えると緊急解除できない場合があります。

発報中の解除

発報中にシステムを解除するには、まず車両のすべてのドアを閉める必要があります。ドアを閉じたら純正キーレスを使ってアンロックします。チャープ音が３回発せられ（動作確認音がオフになっている場合には無音）システムが解除されます。

注意！

発報時に車両ドアがすでにアンロック状態にある場合には、一旦ドアを純正キーレスでロックしてから再度純正キーレスでアンロックしてください。

トランクオープナー／パワーリアゲート対応

システムセット中に純正リモコンからトランクオープナー／パワーリアゲートを操作した場合、本体に接続しているセンサーはすべてバイパスされます。また、ドア開信号線も一旦トランクが閉じられ５秒経過するまではバイパスされます。

注意！

車両により対応できない場合があります。その際はシステム解除後にトランクオープナー／パワーリアゲートの操作を行ってください。

警戒中のシステム動作

センサー検知

シングルステージ：

衝撃センサーが弱い衝撃を検知するとチャープ音が5回鳴ります。

※センサーバイパスモードでは反応しません。

デュアルステージ：

衝撃センサーが強い衝撃を検知すると30秒間またはリモコンで解除されるまで異常発報します

※センサーバイパスモードでは反応しません。

GWA（動作中出力）

システムセット中にアース信号が連続して出力されます。(ルミネーターやスタータキルイモビライザー等のオプション(別売)をコントロールする場合に使用します。)

ドア開検知（ドアオープンプロテクト）

ドアが開けられると30秒間または解除されるまで異常発報します。

※ CAN信号にボンネット開信号が含まれる車両ではシステム警戒中にボンネットが開けられるとドア開として認識し異常発報を行います。この場合のトリガーメモリもドアとして表示されます。

警戒中のエンジン始動

機能選択(10頁機能選択表参照)により下記2種類の動作を行います。

プロテクトモード：

エンジンがかけられると30秒間またはシステムが解除されるまで異常発報します。

エンジンスターター／ターボタイマー対応モード：

　エンジンがかけられるとセンサーはエンジンが停止するまで無視されます。ただし、このモードが選択されている場合であってもドアは引き続き監視されますので、ドアが開けられた場合には異常発報が行われます。

インテリジェントIGプロテクト

　インテリジェントIGプロテクト（IIP）機能はエンスタモードが選択されていても、警戒中にドア信号により異常発報すると、その後再度警戒セットされるまで、エンジン始動で異常発報し乗逃げをガードします。

　異常発報とはシステムが異常を検知し、30秒間のサイレン鳴動やハザードフラッシュを行う事です。
※警告、警報時のハザードフラッシュ機能は車両により機能しない場合があります。

動作確認LED

　警戒中は通常1秒に1回のゆっくりした点滅を行います。異常発報すると点滅速度が早くなり、一度解除され再度セットされるかイグニッションがONされるまで継続します。一旦発報が止まっても異常があったことを知らせてくれます。<u>また、システム解除状態でエンジン始動中にドアを開けると半ドア警告として点滅します（固定機能）。</u>

レジューム機能

　セット状態を記憶しているため万が一車両バッテリーを外されても、電源が再投入されると異常発報後にセット状態に復帰します。

　この時トリガーメモリーはありません。（※11頁「その他の機能」の「（トリガー）メモリ機能」を参照ください。

各種機能の設定

　本製品はお客様のご使用される環境に、より適応させるためのモードを搭載しています。機能選択の方法は下記手順にしたがってください。

手順	作業内容
1	車両純正キーレスを使って一度システムをセットした後すぐに解除します。
2	上記操作から20秒以内にIGをオンします。
3	プログラムスイッチを選択したい項目の回数(下記表参照)押します。
4	IGをオフします。
選択した項目の回数LEDが点滅し、設定が変更された事を表示します。 設定モードは自動的に終了します。	

※各機能の設定ははは上記手順1.～4.を繰り返すたびに入れ替わります。
※時間制限があるためスイッチの操作はすばやく行ってください。
※一部のハイブリッド車では、エンジン始動/停止後に操作を行う必要があります。

機能選択表:

選択項目	選択機能	選択内容	工場出荷時
3	インテリジェントIGプロテクト(エンスタ対応)	ﾌﾟﾛﾃｸﾄ／ｴﾝｽﾀ	ﾌﾟﾛﾃｸﾄ
4	リモートスタート中確認動作	ON／OFF	OFF
7	IGオン中ドア開警告(ハザード点滅)	ON／OFF	OFF
8	オートアーム	ON／OFF	OFF
9	サイレン出力	連続／断続	連続
10	オートリアーム	ON／OFF	OFF
15	車速連動ドアロック	ON／OFF	OFF
17	イクステリアイルミネーション	ON／OFF	OFF

機能選択項目説明

3. インテリジェントIGプロテクト(エンジンスターター対応)

・「**プロテクト**」を選択した場合、警戒中にエンジン始動すると異常発報します。
・「**エンスタ**」を選択した場合、エンジン始動中はドア検知以外では異常発報しないためエンジンスターターとの併用が可能です。

※インテリジェントIGプロテクト(IIP)機能はエンスタモードが選択されていても、警戒中にドア信号により異常発報すると、その後再度警戒セットされるまで、エンジン始動で異常発報し乗逃げをガードします。

4. リモートスタート中確認動作(エンスタ連動ライト)

※この機能はエンジンスターター「対応」設定されている場合に有効です。
「**ON**」を選択した場合、警戒状態でエンジン始動中はハザードが点滅し続けます。

7. IGオン中ドア開警告(ハザード点滅)

「**ON**」を選択した場合、IGオン中(エンジン始動中)にドアを開けるとドアが閉められるまでハザードが点滅し続けます。

※OFFの場合でも動作確認LEDは点滅します。

8.オートアーム

「**ON**」を選択した場合、イグニッションOFF後最後にドアを開閉した時点から20秒経過すると、自動的にシステムをセットします。(ドアロックは行いません。)

9. サイレン出力

・「連続」を選択した場合、異常発報時に連続したサイレン信号を出力します。
・「断続」を選択した場合、異常発報時に断続したサイレン信号を出力します。

10. オートリアーム

「**ON**」を選択した場合、システムを解除した後60秒以内にドアが開けられるか、イグニッションキーがONされない場合には自動的に再セットします。

15. 車速連動ドアロック機能

「**ON**」を選択した場合、車両速度が約30Km/hに到達するとドアを自動的にロックしギアが『P』ポジションになるとドアを自動的にアンロックします。

※車速連動ドアロック機能でロックされた後、ギアを『P』ポジションにする以外の方法でドアをアンロックした場合には一旦ギアポジションが『P』に入れられるまでドアは自動的にロックされる事はありません。

⚠注意!

車速連動ドアロックが動作した際に車載テレビの画像に稀にノイズが入る場合がありますが、これはドアロック時の車両特有のノイズによるものであり本製品を取付けた事による影響ではありません。

※車種により動作しない場合があります。詳しくは最新の適合表をご確認ください。

17. イクステリアイルミネーション(解除点滅機能)

「**ON**」を選択した場合、解除後ハザードランプが点滅します。点滅は30秒経過するか、ドアが開くか、IGがONになるまで続きます。

その他の機能

ハザードフラッシュ機能

発報中→30秒間点滅、予備警告時→3回点滅。

※ 車両により点滅回数が違う場合または利用できない場合があります。

その他の機能(続き)

(トリガー)メモリー機能

通常警戒中は1秒に1回のゆっくりした点滅を行うLEDが、異常発報と同時に点滅速度が早くなります。LEDの早い点滅はシステムが再セットされるか解除中にイグニッションがONされるまで継続します。メモリー機能が働いた場合は、システムを解除した後のLEDの点滅回数が、どのセクターが反応したかを知らせてくれます。メモリーは3つを記憶しており、LED点滅回数の少ない順に表示されます。

LED点滅回数	異常検知セクター
0	メイン電源断
2	ドア
3	トランク
4	ボンネット※
6	イグニッション
7	外部センサー

※ CAN信号によるボンネット開検知はドア開信号として認識されます。
※ CAN信号によるボンネット開検知は車両装備により利用できない場合があります。そのような車両でボンネット開検知を行うには別売のボンネットスイッチが必要です。
※ 左表トリガーメモリのボンネット[4]は別売のボンネットスイッチを使用した場合のみ有効です。

エラーチャープ機能

システムセットした時点ですでにいずれかのセクターが異常検知状態にある場合にはチャープ音を2回鳴らします。

バレーモード®機能

車両をメンテナンスに出す等セキュリティーを動作させたくない場合は下記手順によりシステムを動作しないように設定できます。

手順	作業内容
1	IGをオフ、システムを解除状態にします。
2	プログラムボタンを押し、そのまま押し続けます。
動作確認LEDが点灯しはじめます。	
3	そのままプログラムボタンを5秒以上押し続けます。
LEDが消灯しシステムがバレーモードに設定された事を知らせます。	

※ 上記手順をもう一度行うとバレーモードを解除します。

⚠注意!

バレーモードの取り扱いには次の点に十分注意してください。
・ 設定中であることを確認するための特別な表示を行いません。
・ 設定中は純正キーレス操作でシステムのセット/解除はできません。
・ バレーモード解除後最初のシステムセットはチャープ音2回が鳴りセンサーバイパスモードになりますのでご注意ください。

本製品の作動の有無に関わらず盗難等の被害が発生しても当社では一切の責任を負いかねます。

その他の機能(続き)

セクターバイパス(SBS)機能

　同じセクター(ドアを除く)により5回異常発報した場合、または予備警告が１０回発せられた場合にはそのセクターは周囲への迷惑を防止するためそれ以降はバイパスされ反応しなくなります。バイパスを解除するには一度システムを解除し、再度警戒状態にセットする必要があります。

※ セクターとはドア、IG、センサー等の監視個所のことです。
※ ドア開検知は４回の異常発報後バイパスされますが、一度ドアを閉めるとリセットされます。

緊急リセットコード変更方法

　本製品は電池切れで純正キーレスが使用不可能な場合に、緊急リセットによりシステムをリセット(解除)することができる機能を搭載しています。
　セキュリティ性向上のため本製品をご使用される前に必ず緊急リセット用コードの変更を下記手順にしたがって行ってください。緊急リセットコードは１～３０に設定してください。

※工場出荷時の緊急リセットコードは “6” です。

手順	作業内容
1	イグニッションをオンします。
2	プログラムスイッチを6秒以上押し続けます。
チャープ音が3回鳴ります。	
3	スイッチを離します。
4	イグニッションをオフします。
動作確認LEDが5秒間点灯します。	
5	上記LED点灯中にIGをオンします。
動作確認LEDが消灯後ゆっくりと点滅します。	
6	LEDが設定したい数の回数分点滅したところでイグニッションをオフします。
LEDが設定した緊急リセットコードの回数だけ点滅します。	
緊急リセットコードの設定完了です。	

⚠注意!

※登録した緊急リセットコードは絶対に忘れないようにしてください。

※オプションのページャーリモコンが登録された状態で緊急リセットコードの変更を行うと、登録されているページャーリモコンのIDは一旦消去されます。
　ページャーリモコンは緊急リセットコードを変更した後に登録してください。

Q & A

Q：純正キーレスで操作してもシステムがセット／解除されない事がある。

A：　純正キーレスでドアのロック／アンロック操作が短時間に繰り返されると車種によっては稀にシステムが連動できない事があります。このような場合には数十秒時間をおいてからドアロック／アンロック操作を行ってください。

Q：出先で純正キーレスが使えなくなってしまった！

A：☞緊急解除コードを使用してセキュリティを解除することができます。解除方法は本説明書6ページの「緊急リセットの方法」を参照してください。

Q：システムはセットされているのに何も反応しない！

A：　バレーモードまたはセンサーバイパスモードでセットしていませんか？システムのセット方法によって外部センサーが反応しないモードが用意されています。（本説明書5ページ、10ページをご参照ください）

Q：純正キーレスでトランクをあけたのにサイレンが鳴り始めた。

A：　純正キーレスについているトランクリリース機能によりセキュリティ警戒中にトランクを開ける場合には、トランクリリース信号が入力されてから2秒以内にトランクが開けられる必要があります。もしこの時間を過ぎてトランクが開くとサイレンが鳴りだします。
※ 車両により対応できない場合があります。

Q：サイレンが鳴動中に純正キーレスで操作しても解除できない。

A：　車両のドアはすべて閉まっていますか？純正キーレスはすべてのドアが閉まっていない場合には操作をしても車両側での動作をしないようになっているものがほとんどです。
　車両のドアがすべて閉まっている事を確認した後、純正キーレスでの操作を行ってください。車両のドアロックの状態や純正キーレスの機能により、一回の操作で解除される場合と、一旦ロック動作を行ってから改めてアンロック動作を行う必要がある場合があります。

Q：機能設定がうまくできない

A：一度エンジンをかけてから行ってみてください。
また、機能設定スイッチを押すスピードが遅いとタイムオーバーになる場合があります。

仕様一覧

メインユニット仕様：

項目	仕様
定格電圧	DC12V
消費電流	待機時2mA（車両CANスリープ時）
動作周囲温度範囲	-40℃ ～ 85℃
保護構造	IP40

衝撃センサー仕様：

項目	仕様
定格電圧	DC12V
消費電流	待機時5mA
動作周囲温度範囲	-40℃ ～ 85℃
振動検知方式	赤外線方式
保護構造	IP40

サイレン仕様仕様：

項目	仕様
定格電圧	DC12V
消費電流	警報時 約1A
動作周囲温度	-40℃ ～ 125℃
保護構造	IP54